

事業者アンケート調査(案)

1. 目的

生物多様性に関する事業者の意識や取り組み状況等を把握する目的で、アンケート調査を実施する。

2. 実施方法及び調査対象

郵送法による。市内に事業所を有する約 250 事業者を対象とする。

事業所の抽出は下記のとおりとする。

- ・ 従業者数 70 名以上の事業所（全業種）で、各産業分類（大分類）の上位 19 社を抽出
※但し、70 名以上の事業所が 19 社以上ない産業については、70 名以上の事業所全てを抽出
- ・ 上記に該当しない「環境フェスティバルふくおか協賛企業」「福岡市環境行動賞受賞事業者」
- ・ 福岡市漁業協同組合、福岡市森林組合（個人事業主が多いため組合を調査対象とする）

3. アンケートの設問内容

<設問A：事業所のプロフィール>

問 1. 貴組織が該当する業種を下記の産業分類からの 1 つ選択してください。

1 農業、2 林業、3 漁業、4 鉱業、5 建設業、6 製造業、7 電気・ガス・熱供給・水道業、8 情報通信業、9 運輸業、10 卸売業、11 小売業、12 金融・保険業、13 不動産業、14 飲食店、15 宿泊業、16 医療・福祉、17 教育・学習支援業、18 複合サービス事業、19 サービス、20 公務
--

問 2. 貴組織の従業員数を記述してください。

人

問 3. 貴組織の資本金を記述してください。

円

問 4. 貴組織の市内における事業継続年数を記述してください。

年

<設問B：生物多様性・生態系サービスに関する意識・理解度>

問 5. 生物多様性^{※1}の保全への取り組みと事業（企業）活動のあり方について、貴組織の事業（企業）活動と生物多様性の保全への取り組みとの関連性として当てはまるものを下記より 1 つ選択してください。

※1：「生物多様性」については、5 頁に用語解説を付けておりますのでご参照下さい。

1	自社の企業活動と大いに関連があり、重要視している
2	自社の企業活動との関係はあるが、それほど重要視していない
3	生物多様性は重要であるが、自社の企業活動との関連性は低いと考えている
4	その他：()

問 6. 貴組織の事業（企業）活動において依存している生物多様性の恵み（生態系サービス^{※2}）について、当てはまるもの全てを選択してください。なお、依存している生物多様性の恵み（生態系サービス^{※2}）については、市内・市外を分けて選択してください。

※2：「生態系サービス」については、5～6 頁に用語解説を付けておりますのでご参照下さい。

恵み	供給サービス		市内	市外
		穀物		
	家畜			
	漁労事業			
	養殖漁業			
	野生の食物			
	木材及びその他の木質繊維			
	その他の繊維（綿、麻、絹等）			
	バイオマス燃料			
	淡水			
	遺伝子資源			
	生化学物質、自然薬品			
	調整サービス			
	大気の水質の調節			
	気候の調節			
	広域的・地域的な気候の調節			
	水の調節			
	土壌侵食の調節			
	水の浄化と廃棄物の処理			
	疫病の予防			
	病害虫と雑草の抑制			
	花粉媒介			
	自然災害からの防護			
	文化的サービス			
	レクリエーションとエコツーリズム			
	その他			

問 7. 貴組織の事業（企業）活動による生物多様性への影響^{※3}について、当てはまるもの全てを選択してください。なお、事業（企業）活動が与える生物多様性への影響範囲については、市内・市外を分けて選択してください。

※3：「生物多様性への影響」については、7 頁に具体例を示しておりますのでご参照下さい。

主要な脅威	市内	市外
	生育・生息地の損失・減少・分断化等	
生物資源の過剰採取		
外来種の移入		
汚染（窒素、りん、化学物質等の水等への排出、環境中での利用等）		
気候変動		
その他		

<設問C：事業活動における生物多様性に関する取り組み状況>

問 8. 貴組織の環境に対する経営方針の設定状況に当てはまるものを下記より 1 つ選択してください。

1	環境に対する経営方針を既に定めている
2	環境に対する経営方針を定めていないが今後定める予定である
3	環境に対する経営方針を定めておらず今後も定める予定がない
4	その他

問 9. 貴組織の環境に対する経営方針もしくは事業（企業）活動の中での生物多様性の保全への取り組みについて、当てはまるものを下記より 1つ選択してください。

1	生物多様性保全の取り組みに関する方針を定め、取り組みを行っている
2	生物多様性保全の取り組みに関する方針は定めていないが、取り組みは行っている
3	生物多様性保全の取り組みに関する方針を定めているが、取り組みは行っていない
4	生物多様性保全の取り組みに関する方針は定めておらず、取り組みも行っていない

問 10. 貴組織の行っている生物多様性の保全に関する具体的な取り組み内容について、当てはまるもの全てを選択してください。

1	事業所内に生息する代表的な動植物の生息・生育状況について調査し、把握している（稀少種、絶滅危惧種に関する調査等を含む）
2	事業計画を策定する際に、自社の事業活動が生態系や野生生物に及ぼす影響について調査し、評価している
3	生物多様性の保全を目的として土地を保有、賃借または管理している
4	生物多様性の保全に資する製品やサービスを提供している
5	過度の捕獲・採集など、生物多様性に多大な悪影響を及ぼし生産された原材料を使用しないよう配慮している
6	荒廃地への植林やサンゴ礁の再生、絶滅が危惧される野生生物の保護など人間活動により攪乱された自然環境の保護や修復に取り組んでいる
7	放置された人工林や里地里山など、人間活動の低下により生物多様性が低下した自然環境を管理し、生物多様性の確保に取り組んでいる
8	原材料の調達などに当たって動植物の移動による生態系の攪乱が引き起こされないよう配慮している（例：バラスト水処理、生産過程での在来種利用の促進など）
9	その他：（ ）

<設問D：今後の事業活動における生物多様性に関する取り組みの可能性>

問 11. 貴組織の今後の生物多様性の保全及び利用に関する取り組み意向意思について、当てはまるもの全てを選択してください。また、その理由も合せて記述してください。

①既に取り組みを行っている事業所（問9で1or2と回答された場合にご回答下さい）

1	今後も取り組みを継続する予定である（理由： ）
2	取り組みを中止する予定がある（理由： ）
3	まだ方針が決まっていない（理由： ）

②現在、取り組みを行っていない事業所（問9で3or4と回答された場合にご回答下さい）

1	今後、取り組みを行う予定である（理由： ）
2	今後も取り組みを行う予定はない（理由： ）
3	まだ方針が決まっていない（理由： ）

問 12. 貴組織における今後の生物多様性の保全及び利用に関する具体的な取り組み内容として想定される内容について、当てはまるもの全てを選択してください。

(問 11-①及び②で「1」と回答された方のみご回答下さい)

1	事業所内に生息する代表的な動植物の生息・生育状況について調査し、把握する
2	事業計画を策定する際に、自社の事業活動が生態系や野生生物に及ぼす影響について調査し、評価する
3	生物多様性の保全を目的として土地を保有、賃借または管理する
4	生物多様性の保全に資する製品やサービスを提供する
5	過度の捕獲・採集など、生物多様性に多大な悪影響を及ぼし生産された原材料を使用しないよう配慮する
6	荒廃地への植林やサンゴ礁の再生、絶滅が危惧される野生生物の保護など人間活動により攪乱された自然環境の保護や修復に取り組む
7	放置された人工林や里地里山など、人間活動の低下により生物多様性が低下した自然環境を管理し、生物多様性の確保に取り組む
8	原材料の調達などに当たって動植物の移動による生態系の攪乱が引き起こされないよう配慮する
9	その他

問 13. 貴組織において生物多様性の保全及び利用に関する取り組みを行うにあたり、課題となる事項として、当てはまるもの全てを選択してください。

1	取り組み又は検討する経営的余裕の確保
2	トップの理解
3	経営層もしくは部局内の合意
4	取り組み又は検討する部局の確保
5	業務と生物多様性とのつながりが不明確（内部説得材料の不足）
6	国内外の情報収集困難
7	生物多様性の評価手法が不明確
8	政府・自治体のイニシアティブ
9	市場の不安定さ
10	その他

問 14. 前項「問 13」の課題を改善するために、今後必要と考える対策について記述してください。

以上です。ご協力有難うございました。

《参考：用語解説》

■生物多様性【全体に係る解説】

(生物多様性とは)

生物多様性条約では、生物多様性を全ての生物の間の変異性と定義し、生態系の多様性、種間（種）の多様性、種内（遺伝子）の多様性という3つのレベルの多様性があるとしています。分かりやすく言えば、地域に固有の自然があり、それぞれに特有の生き物がいること、そして、それぞれがつながっていることとも言い換えられます。

(生態系の多様性とは)

地球上、あるいは特定の地域に様々なタイプの自然（森林、湿原、干潟、サンゴ礁、大小の河川など）があること

(種の多様性とは)

地球上、あるいは特定の地域に様々な種類の生物が生息・生育している状況のこと

(遺伝子の多様性とは)

同じ生物種内のグループにも、遺伝子による違いがあること

■生物多様性の恵み（生態系サービス）【問6に係る解説】

(生態系サービスとは)

ミレニアム生態系評価では、生態系サービスは、私たち人間が生態系から得る便益と定義しています。

生態系サービスは、「供給サービス（provisioning services）」、「調整サービス（regulating services）」、「文化的サービス（cultural services）」、「基盤サービス（supporting services）」の4つに分類されています。

(供給サービスとは)

食料、燃料、木材、繊維、薬品、水など、人間の生活に重要な資源を供給するサービスを指し、人間の生命や生活の維持に必要不可欠なものです。現在、未発見あるいは利用価値が十分に分からなくても、将来、人間の生存に有用なものが見つかる可能性もあります。

供給サービスの例

サービス		説明
食料	穀物	食料や餌として収穫される栽培植物又は農作物 【例】穀類、野菜、果物
	家畜	家庭用又は商用で消費・使用されるために生育される動物 【例】牛、豚、鶏
	漁労事業	養殖以外の漁法で捕獲される野生魚類 【例】マグロ、カニ、タラ
	養殖漁業	収穫目的で池、その他の淡水又は海水を使用した閉鎖環境で繁殖・飼育される魚類、貝類、甲殻類、海草 【例】エビ、カキ、ウナギ、海苔
	野生の食物	採取又は捕獲される野生の食用植物及び動物 【例】果物、木の実、きのこ、野生動物の肉
木材及び繊維	木材及びその他の木質繊維	自然の森林生態系、植林地等から得られる樹木から生産されたもの 【例】丸太、木材パルプ、紙
	その他の繊維	自然環境から採取あるいは人間により生育・収穫される木材以外の繊維で、燃料以外の様々な用途に用いられるもの（綿、麻、絹、羊毛等） 【例】織物（衣類等）、縄
燃料	生物、あるいは最近まで生きていた生物で、エネルギー源として使用されるもの 【例】薪、木炭、燃料生産用の穀類、糞	
淡水	家庭、産業及び農業等で使用する内陸の水、地下水、雨水及び地表水 【例】飲料、工業プロセス、発電、輸送手段等に使用される淡水	
遺伝資源	動物の繁殖、植物の改良及びバイオテクノロジーに使用される遺伝子および遺伝情報 【例】作物の抵抗力を高めるために使用される遺伝子	
生化学物質、自然薬品	商用又は家庭内で使用するために、生態系から採取する医薬品、殺生物剤、食品添加物及びその他の生物由来物質 【例】アルギン酸、チョウセンニンジン、ショウノウ（クスノキ）	

(調整サービスとは)

森林があることによって気候が緩和されたり、洪水が起こりにくくなったり、水が浄化されたりといった、環境を制御するサービスのことを言います。これらを人工的に実施しようとすると、膨大なコストがかかります。

このサービスの観点では、生物多様性が高いことは外部からのかく乱要因や不測の事態に対する安定性や回復性を高めることにつながるといことができます。

調整サービスの例

サービス	説明
大気質の調節	生態系が化学物質を大気に放出、又は大気から化学物質を取り出すことで、大気質に様々な側面で影響を及ぼすこと 【例】湖が硫黄化合物の吸収源として機能する。植生火災が、微粒子、地表オゾン、揮発性有機化合物を放出する。
気候の調節	地球規模 温室効果ガス、エアロゾルを大気中に放出すること、又は温室効果ガス、エアロゾルを大気から吸収することで、生態系が地球の気候に影響を及ぼすこと 【例】森林が二酸化炭素を吸収し貯蔵する。湿地や畜牛及び水田がメタンガスを放出する。
	広域的・地域的 生態系が地域又は広域の温度、降水量及びその他の気候因子に影響を及ぼすこと 【例】土地被覆の変化が気温や降水量を変化させる。
水の調節	生態系が、水の流出、洪水、帯水層の涵養のタイミングと規模に与える影響、特に生態系や地域が有する潜在的な保水能力 【例】透過性の土壌が帯水層の涵養を促進する。河川の氾濫源と湿地帯が水を保持し、流出ピーク時の氾濫を低減し、洪水制御のためのインフラ工事の必要性を抑える。
土壌侵食の調節	植被が土壌保持と地滑り防止において果たす役割 【例】草や樹木等の植生が風雨等による土壌の損失を防ぐ。
水の浄化と廃棄物の処理	生態系が水中の有機性廃棄物を吸収・分解する役割、土壌及び底質におけるプロセスを通して化合物を同化・解毒する役割 【例】地中の微生物が、有機廃棄物を分解する。
疫病の予防	生態系が人間の病原体の発生率及び量に与える影響 【例】手付かずの森林があることで、蚊の繁殖場所となるよんどだ水が生じにくくなり、マラリアの罹患率を減少させる。
病虫害と雑草の抑制	生態系が作物及び家畜の害虫や雑草、及び疾病の流行に与える影響 【例】コウモリ、ヒキガエル、ヘビ等の農地の近隣の森林に生息する捕食者が、作物の害虫や雑草を食べる。
花粉媒介	生態系が雄花から雌花に花粉を運ぶ役割 【例】農地の近隣の森林に生息するハチが、作物の花粉を媒介する。
自然災害からの防護	台風や高潮等の自然災害による損害を低減させ、自然火災の頻度及び強度を維持する生態系の能力 【例】森林の洪水緩和機能が中小洪水の発生を抑制する。生分解プロセスが、野火で燃えそうな燃料を減らす。

(文化的サービスとは)

精神的充足、美的な楽しみ、宗教・社会制度の基盤、レクリエーションの機会などを与えるサービスのことを言います。多くの地域固有の文化・宗教はその地域に固有の生態系・生物相によって支えられています。

生物多様性はこうした文化の基盤といえます。ある生物が失われることは、その地域の文化そのものを失ってしまうことにもつながりかねません。

文化的サービスの例

サービス	説明
レクリエーションとエコツーリズム	自然生態系等から得られるレクリエーションの楽しみ 【例】ハイキング、キャンプ、バードウォッチング
その他	霊的、宗教的、審美的、本質的な「存在」、あるいは人々が生態系、景観や生物種に付与する何らかの価値 【例】神聖な土地や河川から得られる霊的な充足感、利用価値に関わらず、全ての生物種が保護に値するとの信念

(基盤サービスとは)

「供給サービス」、「調整サービス」、「文化的サービス」の供給を支えるサービスのことを言います。例えば、光合成による酸素の生成、土壌形成、栄養塩循環、水循環などがこれに当たります。

基盤サービスの例

サービス	説明
栄養塩循環	生態系が、分解・吸収等のプロセスを通して、栄養素（窒素、硫黄、リン、炭素等）の流れと再循環にもたらす役割 【例】土壌動物や微生物が有機物を分解し、土壌を肥沃にする
一次生産	植物の光合成及び栄養塩類の同化による、生物材料の生成 【例】藻類が日光と栄養素をバイオマスに変化させ、水域生態系内の食物連鎖の基礎を形成する
水循環	固体、液体、気体の形で生態系を循環する水の流れ 【例】土壌から植物に、植物から大気に、そして大気から雨などを通じて土壌へと運ばれる水

■生物多様性への影響（問7に係る具体例）

（事業者が与える可能性がある影響の例）

影響	事業者が与えている可能性がある影響の例
生息・生育地の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・工場の建設や不動産開発、農地利用、廃棄物の処分等、土地を改変することにより、生物の生育・生息地の面積を減少させる。当該地域の生物の個体数や種数を減少させる。動物の移動経路を分断する・建造物の設置等により、生物の生育・生息地を分断する ・建造物の建設等により河川や湖沼等の流路を改変する、あるいは、取水等により流量・水量を変化させることにより、生育・生息環境を変化させる ・天然ゴム等の資源利用により、原料生産国の自然環境を破壊し、生物の生育・生息環境を変化させる
生物資源の過剰採取	<ul style="list-style-type: none"> ・森林や魚介類、その他動植物等の生物資源を過剰に採取し、枯渇させる ・希少種や絶滅危惧種を採取し、個体数を減少させる ・地域社会における生物資源の伝統的な利用を減少させる ・生物資源に基づく地域の伝統文化を衰退させる
外来種	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送等に伴う外来種の移入により生態系に影響を与える ・緑化、養殖等における外来種の利用により生態系に影響を与える
汚染	<ul style="list-style-type: none"> ・水等の環境中に、汚濁物質等を排出することにより、生物の生育・生息環境を変化させる ・水等の環境中に、汚濁物質等を排出することにより、生物を喪失させ、個体数や種数、多様性を減少させる
気候変動	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの排出により、気候変動を加速させ、気候変動による生物多様性への影響を増加させる
その他、生物多様性への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間照明等により生育・生息環境を変化させる ・騒音により動物の繁殖に影響を与える ・大型風力発電設置により鳥類の移動経路への影響を与える

出典：生物多様性民間参画ガイドライン（第1版）2009年8月／環境省自然環境局